

自己評価結果公表シート（令和6年度）

学校法人育保学園 くまのだ保育園

1. 本園の教育・保育理念

「一人ひとり」の個性が輝く毎日を送る事ができるような環境を整え、様々な経験と遊びを通じて健全な心身の発達を助長し、情操豊かな子どもの育成を目指す。

2. 本園の教育・保育のねらい

- ・自ら考え、行動する力を育てる。
- ・人を思いやる気持ちを育てる。
- ・集団生活を通して、規範意識を持つ力を育てる。
- ・新しいものを生みだそうとする力を育てる。

3. 本年度重点的に取り組む目標・計画

- ・保育者の質の向上
- ・保育環境の見直しとねらいの共有
- ・業務の効率化

4. 評価項目の達成及び、取り組み状況

評価項目	取り組み状況・結果
○保育者の質の向上	・子ども達が使用するカードゲームやボードゲーム等について、全職員で学ぶ機会を持つ事で、クラスの担当職員以外も保育の中で積極的に活用し子ども達と楽しむ事ができた。手作り玩具を取り入れる事が増えてきたが、職員間で紹介する機会が少なかった為、ミーティングや話し合い等で積極的に紹介する場を作り、ねらいや改善点等共有する機会を作り、保育者の意識を高めていきたい。 ・キャリアアップ研修は個人が時間を見つけ積極的に受講できているが、その他、様々な分野の研修については受講する機会が減っている為、受講意識が高まるよう、積極的に紹介していきたい。
○保育環境の見直しとねらいの共有	・戸外遊びについて、定期的な話し合いだけでなく、毎日のミーティングの中でその日の子どもの姿や反省点を乳児・幼児共に出し合う事で遊びの環境を見直したり翌日の活動に取り入れたりする等、迅速に対応できるようになってきた。戸外遊びの際に事前の準備が十分にできていない事があった為、毎朝、環境を整える時間を設けるようにした。しかし、自然物や玩具等の準備が後手になる事もあるので、事前に必要な物をしっかりと共有し、全職員が意識し準備できるようにしたい。 ・室内のごっこ遊びについては、遊びの環境を整える事で、常に子ども達と共に楽しめるようになってきた。ただ、クラスによって実施する・しないがあるので、常に子ども達が楽しめる環境を整えていきたい。戸外遊びにおいては玩具が揃ってなかったり、職員の意識も薄かったりするので、これまでの環境を一度見直し、より楽しめるような環境を考えていきたい。
○業務の効率化	・行事や日々の保育準備等、事前に話し合うよう心掛け、役割を共有し、それぞれが分担する事で時間を有効に使う意識が高まり、業務時間内に準備等を終わらせる事に繋がった。 ・登降園管理や登園状況の把握等、ICTを導入する事で電話対応や保護者への問い合わせ等の職員の負担を軽減できた。

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
○保育者の質の向上	・行動だけでなく、一つひとつの保育に対する思いを共有できるように園内研修の内容を再度見直すと共に、その都度、職員間で思いを伝え合う場を設けていきたい。 ・行事等、毎年改善等を行っているが、次年度への引継ぎがうまくできておらず、戸惑う事が多くあった。一人ひとりが責任感を持ち、次年度に引き継いでいく事で、より良い方法を考えていけるようにしたい。
○保育環境の充実	・事前に準備物やその日のねらいを把握した上で、園庭の環境を整えていけるようにする。 ・毎日の自由あそびの中に、継続してサーキット遊びを取り入れ、いろいろな動きを経験できるようにする。週一回の体育あそびの前に体育講師と共にサーキットのコーナーを設ける事で、より興味が持てるようにすると共に、日々の自由あそびと体育あそびの内容を繋げていけるようにする。
○保育の可視化	・定期的にクラスの子どもの様子をスライドショーにして流す機会を設ける。 ・毎月のクラスの様子や個々の子どもの様子を記録し、ファイルにする事で、保護者の方と子どもの成長を共有できるようにする。
○業務の効率化	・保育の記録を電子化する事で、記録の共有や書類作成の時間短縮を行う。 ・新たに水遊びチェックや保育料管理等のICTシステムを導入する事で業務の効率化を図る。